

.....

# 二火会たより・26号

日本山岳会 二火会 〒102-0081 千代田区四番町5-4 TEL03-3261-4433

.....

春になると、山が笑うと言われ、私は四季の中で春が一番好きです。山を見ているだけでウキウキしてきます。

新緑や花に包まれる山々は私達をきっと歓迎してくれることでしょう。

二火会を任せられて、早一年になります、無我夢中で歩いてまいりましたが、これでいいのか悪いのか？

総会を**5月10日(火)**開会します。一人でも多くの人に参加して頂きたいと思います。

皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。例えば、行ってよかった山、行きたい山等又近況報告など。

今出来ることを焦らず、たゆまず楽しもうではありませんか。

代表 佐藤 登代子

## 山行報告

### 12月 忘年会

■期 日：2015年12月19日（土）

■集 合：目白駅、09：00

■参加者 佐藤登代子 熊谷とも子 植村澄江 村山祐嗣 下野美奈子（ゲスト）

清水千枝子 亜厂文代 石田要久 児嶋和夫 大船武彦（順不同、敬称略）

永青文庫で開催されている「春画展」を覗いて、少し足慣らしをした後で、市ヶ谷「鯨の家」で一献傾けるとするのが忘年会の計画でした。

自由に途中で合流したり、市ヶ谷鯨の家だけにあらわれたりなすったかたもいらっしやったが、子供の集まりでもあるまいし、世の中号令一斉でなんかするような時代でもなくて、自由な振る舞いが、とっても良かった集まりでした。春画を覗きに来るような女性がどの程度いらっしやるのかと思ったけれど、代表をはじめとして、大勢お集まりいただき

て、幹事としてもお薦めした甲斐があったというものでした。このあたりも、大人の集ま



りだという感じがして、とっても良かったし、ご参加の方々も、いたくご満足なすったところではないかと思いましたが。途中護国寺によって、侯爵と彫り込まれた墓碑を覗いたりしたのもよかったし、富士塚に登ってみたのも、これもよかったと思います。鮭の家では、熊谷大先輩の訾咳に接することもできて、また明年も殊更いい山行ができるのではないかと予感する忘年会でした。 (報告;大船武彦)

## 1月の山行 武蔵五日市の七福神めぐり

■期 日：2016年1月12日(火)雨

■参加者：植村澄江、内田敏子、佐藤登代子、佐野加代子、清水千枝子、下野夫妻、須藤節子、染谷美佐子、深田夫妻、松澤君子、茂木洋子、本多祐造(ゲスト)、古閑栄子(ゲスト)、濱村信(ゲスト)、松島岳生(係り)(17人)

■コース：武蔵五日市駅集合 10:00~10:10—正光寺(弁財天)—大悲願寺(大黒天)—横沢入の里山—下町地藏堂(恵比寿天)—寿美屋(昼食)—玉林寺(福祿寿)—番場地蔵堂(毘沙門天)—光厳寺(布袋尊)—徳雲寺(寿老人) 15:25~40—十里木バス停 16:10—五日市駅 16:30

はっきりしない空模様で、めいめい小雨に傘をさしたり、ささなかつたりで五日市駅を出発。今日は本多祐造さんの案内で武蔵五日市の七福神めぐりである。お目出たい新年山行らしくゲストをまじえて17人が参加。長い隊列になり、まずは正光寺をめざす。

次の名刹・大悲願寺(大黒天)には四国八十八か所の霊場にちなんだ石仏が境内に鎮座し、本多さんご夫妻寄進の石仏もある。次に訪れた「横沢入の里山」はあきる野市が管理している里山の景観保存地区である。ここのあずまやで大休止。それから本多さんの案内で冬枯れの里山の林道を歩いていつのまにか五日市の駅前に出る。

雨模様で屋外で昼食をとる場所がなく、もよりの寿美屋でそばなど食べる。隣の下町地藏堂(恵比寿天)は管理している寿美屋にカギを開けてもらって拝観。それから旧街道をたどって禅寺らしい雰囲気のある玉林寺(福祿寿)、番場地蔵堂(毘沙門天)、今年は暖冬

のせいか、道端の畑にのらぼう菜がすでに青々している。本日唯一の急坂を登って本多さんの卒業した戸倉小学校の上にある光厳寺（布袋尊）へ、大桜の古木がある。それから降って車の多い檜原街道のわきを歩いて最後の徳雲寺（寿老人）に15:25着。雨もあがる。ここで瀬音の湯へむかうグループと別れて、本隊は十里木バス停へ。ほどなくバスに揺られて武蔵五日市駅へともどる。（文：松島岳生）



## 2月の山行 韮山反射炉と葛城山（452m）益山寺・城山（じょうやま）

■期 日：2016年2月10日～11日（水～木）

■参加者：清水千枝子 下野武司 佐野加代子 松澤君子 茂木洋子 三井吉由江  
須藤節子 下野美穂（ゲスト）小島千恵子（ゲスト） 亜厂文代（係り）  
佐藤登代子（係り）

### 1日目（2月10日）

春の兆しを感じる陽気に恵まれほっとした気持ちになりました。

各々出発地、新宿、京王八王子、橋本をバスで出発し、渋滞もなく。

富士山を左右前方と眺めながら一路韮山へ。韮山反射炉は世界に一つ韮山にしか残っていない溶解炉で、世界遺産に登録されているそうです。反射を見学してからホテルに着いたのは12時、ロビーで昼食を取り、13時タクシーで葛城山のロープウェイ乗り場に向かい往復切符を購入し山頂へ。頂上（452m）からは美しく裾をひく秀麗な富士に見入りカメラを持ってこなかったことを悔やむ。

駿河湾の碧い海、澄み切った空、素晴らしい風光明媚なところです。

下山もロープウェイで楽しいし、楽々登山もたまにはいいかな。タクシーでホテル迄帰る。夜は食べ放題、飲み放題、太るのを気にしながらカニなどよく食べました。（文 亜厂文代）



## 2日目（2月11日）

大仁ホテルを8:30 タクシー3台で益山寺に向かう。全員元気一杯。  
益山寺は高野山の末寺で空海が創建し、地元の江川太郎衛門が改修した寺だそうです。  
門には大楓や大銀杏が立っており、秋になると銀杏の見事な黄葉が見られる。  
益山寺を9時に出発し、城山峠までアップダウンの少ない歩きやすい道を城山に向かう。  
途中青木の樹が赤い実をつけてかわいらしかった。又同じように赤い実をつけたジンジャーのような植物も目に入る。休憩は林道峠と城山峠でゆっくり休む。  
城山峠を10:40に出発しここから登りが始まる。岩まじりの山道を30分ほど登る。  
岩でゴツゴツしていた道も、急に視界が開け城山の山頂（346m）四等三角点に着く。  
頂上からは富士山はじめ箱根の駒ヶ岳、天城山など見渡せるビューポイントでした。  
お弁当を拵げ、身も心も満足し、下山しました。  
城山峠で登山口へ下る人（三井、須藤）と、林道峠に下る人に分かれて下山する。  
林道峠からタクシーにて大仁梅林に寄る。大仁梅林は大仁神社にあり、紅梅、白梅とも陽がよく当たる斜面で水仙も咲いており、花の香がとともよかった。梅園からホテル迄20分ほど歩いて戻りました。



伊豆城山山頂

ホテルでは足湯に浸かる人、カラオケを楽しむ人、おしゃべりを楽しむ人、迎えるバス  
が来るまで（15:30）楽しみました。帰りの道路は祝日と事故渋滞が重なり、二時間のところ倍の四時間かかってしまいました。天気に恵まれ、みんな笑顔で楽しい山行でした。

（文 佐藤登代子）

### 3月の山行 八王子市の最高峰・醍醐丸

- 期 日 : 2016年3月8日(火) 晴れ 温かい日
- 参加者: 大島洋子 大森喜夫 佐藤登代子 佐野加代子 高橋満男(係り)
- コース: JR上野原=バス=石楯尾神社—三国山—連行山—醍醐丸—登山口=バス=  
JR藤野駅

春は名のみへの回、三寒四温、昨日の雨あがりの良き日

石楯尾神社でバスを降り、準備体操、リーダーの高橋氏から開口一発、休憩はあまりとらないとのこと、ギョギョ!!これはきびしい山行になると思いきや疲れない歩き方の伝授。納得するも、何時まで保てるか。

露の臺を取る人、仲間の足並みに寄り添う人、風雨で折れ落ちた枝。皆に嫌われる花粉、その花粉になる前の実は実に色美しい。子供の頃、杉鉄砲で実を口に含み、その湿り具合でパチッという快音と飛距離、当り具合を競った事を思い出す自分。

杉林の広い優しい道、両脇の年代の桜並木、もうじき多くの人々を楽しませることでしょう。甘草水で早めに昼食。富士山も顔を見せ食事時間チョッピリ長くなる。

昼食後はアップダウン、捲道、岩場などを歩き、2時30分醍醐丸に到着。

醍醐丸からは和田に下るコースと陣馬高原に下るコースがあり、悩んだ末和田に下ることにした。

此処からバス停まで杉林を一気に下降、歩道を30分歩く。

里に下りると立派な里の家の庭には今はここぞとばかり初春の気配。陽も長くなり、高橋さん持参のご酒を頂きバスが来るまで、暮行く青空のもとで、歓談を楽しむことが出来た。

バスは藤野駅へ。藤野駅では反省会、高橋さんとの楽しい会話が続き楽しい一日でした。

(文 佐野加代子)



三国山



醍醐丸